

LEED 認証において J-CAT の適用が可能になりました

2026 年 9 月 11 日

J - C A T 事 務 局

このたび J-CAT（-建築）が、国際的なグリーンビルディング認証システムの一つである LEED の最新バージョン LEED v5 において、必須の評価項目である「エンボディドカーボンの定量化および評価」への適合を示すツールとして、下記の条件で適用することができるようになったのでお知らせします。

記

1. 適用できる評価システム

LEED v5 BD+C: New Construction and Core and Shell

2. 適用できる地域

日本国内

3. 適用できる J-CAT

J-CAT-建築 標準算定法 ver2.0 以降

J-CAT-建築 詳細算定法 ver2.0 以降

4. 適用方法

LEED 認証において J-CAT の算定結果を適用するには、J-CAT に入力した資材の種類、資材数量、排出量原単位等を LEED の指定様式に転記したデータシートや、J-CAT の算定結果シート（詳細算定結果_GHG）の写しを含む概要報告書の提出が求められるほか、追加の説明事項として、エンボディドカーボンの主な発生源上位 3 つを特定し、それらを削減するために検討された対策の説明なども求められます。

詳しくは、次のガイダンス（英文）をご参照ください。

[Japan Carbon Assessment Tool Guidance_August 2026.pdf](#)

なお、上記ガイダンスについては、LEED を運営する U.S. Green Building Council の次の WEB ページに、8 月 28 日付けで公開されています。

[North Asia Regional Guidance | U.S. Green Building Council](#)

以上